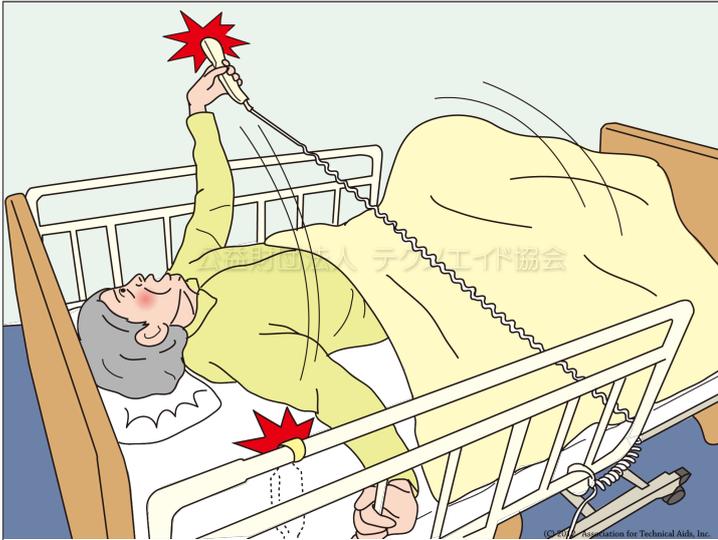


Case : 197

寝返りをする際に手元スイッチを誤ってつかんでしまい、フックが切れて、バランスを崩しそうになる

場面の説明

寝返りのためのベッドの柵（サイドレール）をつかもうとしたが、誤って手元スイッチをつかんだため、フックが切れてひっくり返ってしまった



利用シーン	 起居・就寝  リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

寝返りをする際などに、ベッドの柵（サイドレール）に架けてある手元スイッチを引っ張ってしまうことがあります。このような事故につながりかねない事例のほか、断線などの故障にもつながります。利用者は、わらにもする思いで掴んでしまうので、そのような場所に手元スイッチを格納しないなど、介助者の配慮も大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ベッドの柵（サイドレール）でよくつかむ箇所に手元スイッチを格納していた
- 人：手元スイッチを引っ張っても大丈夫なものだと油断していた
- モノ：引っ張る人はいないという前提で設計されていた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 197

寝返りをする際に手元スイッチを誤ってつかんでしまい、フックが切れて、バランスを崩しそうになる

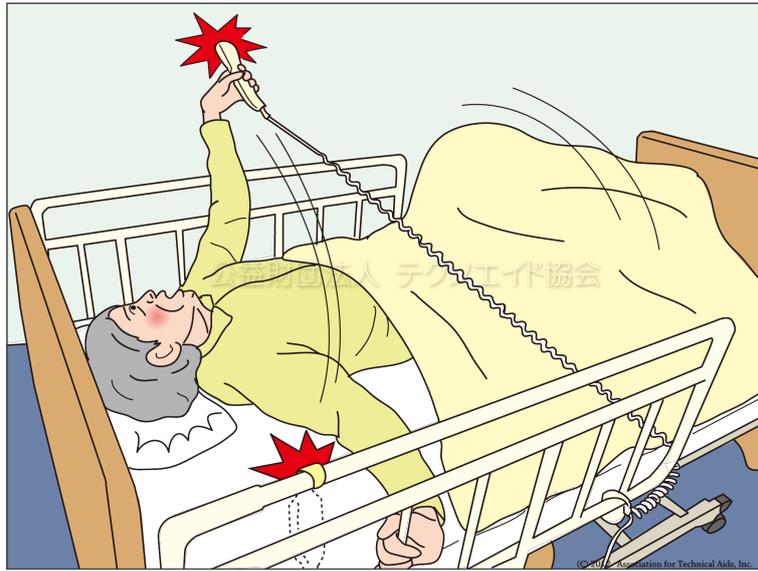
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

寝返りのためのベッドの柵（サイドレール）をつかもうとしたが、誤って手元スイッチをつかんだため、フックが切れてひっくり返ってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ